

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・新型コロナウイルスの感染拡大のため、別府アルゲリッチ音楽祭が中止となったが、音楽祭プロモーションコンサート3公演や地域拠点コンサート3公演、「マルタ・アルゲリッチの日」制定記念コンサート1公演のほか、「アルゲリッチの日」制定をPRする動画を配信することなどにより、別府アルゲリッチ音楽祭が築き上げてきた成果を県民と共有することができた。第16回大分アジア彫刻展では、作品公募を実施し11カ国1地域から172点の応募があった。
②	・県内の12市町村の22校が、県立美術館における鑑賞授業を実施し、小学生828人が参加した。
③	・国東半島の現代アートを更に拡充するために国東市と豊後高田市に現代アートを制作設置した。また、アーティストによるシンポジウムを開催した。
④	・県内高校生による絵画作品の展示を大分市内中心部商店街(ガレリア竹町、セントポルタ中央町)、竹田市歴史文化館、大分県立歴史博物館で開催し、子どもたちの発表機会とともに、多くの方が気軽に芸術に触れる機会を創出した。(のべ86校から215点を出展)

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(3年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①	国際芸術文化振興事業	90.3	336
②	芸術文化ゾーン拠点創出事業	86.3	340
③	芸術文化による地域おこし事業	159.6	341
④	みんなで作る文化活動推進事業	100.0	337

【VI. 施策に対する意見・提言】

○第4回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会 (R3.8)
・芸術分野はコロナ禍であるが引き続き力を入れて支援してもらいたい。

○第5回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会 (R3.10)
・芸術文化は「子育て」や「移住」の決め手となるキーワードとなる。

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
B	<ul style="list-style-type: none"> ・県立美術館では、「五感で楽しむことのできる美術館」「自分の家のリビングと思える美術館」「県民とともに成長する美術館」のコンセプトの下、入場者数の目標達成に向けて、多様なジャンルに挑戦する企画展と集客力のある企画展をバランスよく実施する。 ・県立美術館と地域の文化資源の連携を深め、観光客が循環する仕組みを構築するとともに、竹工芸や現代アート等本県が誇るコンテンツを広く国内外に発信することで、カルチャーツーリズムを推進する。 ・県内各地において多彩で質の高い芸術文化活動が行われるよう、優れた芸術文化を鑑賞し、参加し、創造することができる環境整備の充実を図るとともに、将来の芸術文化の担い手や鑑賞者を育むために、若者や子どもたちの豊かな感性や創造力を育成する機会を充実する。 ・東アジア文化都市2022大分県開催事業における多種多様なイベントを通じて、文化の担い手である県民が芸術や伝統といった様々な文化に親しむことのできる場づくりに取り組む。 ・県立美術館において、子どもたちの主体的な鑑賞の機会の充実を図るとともに、教員の指導力向上に向けて本物の作品を使ったガイド実践を行う。 ・シンボルアート制作や県内学生による芸術作品展示を行い、障がいの有無に関わらない発表機会の創出や芸術文化への関心を高める取り組みを進める。 ・文化活動を通じた特別支援学校と高校の交流や県内の児童・生徒による芸術作品展示を行い、障がいの有無に関わらない発表機会の創出や芸術文化への関心を高める取り組みを進める。